

大志を育む



令和5年3月6日
(教職員向け)
教育委員会だより
No. 51

発行：北広島市教育委員会

小中一貫教育の取組を振り返って

教育委員会学校教育課長 花田 秀樹

令和4年度末を迎え、平成30年度に本市において小中一貫教育を一斉導入してから5年目を終えようとしています。今年度においても、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、様々な対応と工夫を凝らして日々の授業実践に取り組んでいただき、ありがとうございました。

これまで、「学びをつなぐ」「大志をつなぐ」「人と人をつなぐ」という3つのつなぐを共通する取組として進め、9年間をつなぐ教育課程の編成、中学校区ごとのめざす子ども像の共有、中学校区スタンダードによる生活・学習規律の確実な定着、小中相互による乗り入れ授業等の実践が各中学校区で日常的な姿として取り組まれるなど、児童生徒の資質能力の向上につなげることができたものと考えています。

今年度は、令和3年度に開催した「小中一貫教育全国サミット in 北広島」での中学校区での日常的な実践や、9年間を見通した教育活動が大変評価され、多くの自治体から視察の申し込みがあり、学校にも対応いただいたところです。

今月いよいよオープンしますエスコンフィールドをはじめとしたFビレッジ周辺や駅西口周辺開発などにより、全国的に大きな注目を集めているところですが、各中学校における小中一貫教育の先進的な取組は、教育施策の柱として、市のまちづくりの魅力の一つとなっており、まちのシティセールスに大きく貢献しているところです。



埼玉県川口市議会議員視察の様子

令和5年度学校教育の推進方針について

来年度の本市学校教育の推進方針における学校教育の重点は、「義務教育9年間を通して『生きる力』を育む小中一貫教育の漸進（ぜんしん）」と決めました。この「漸進」には「少しずつ確実に進歩する」という意味があります。この確実な進歩は、子どもたちの育ちを大きく前進させるものと考えています。

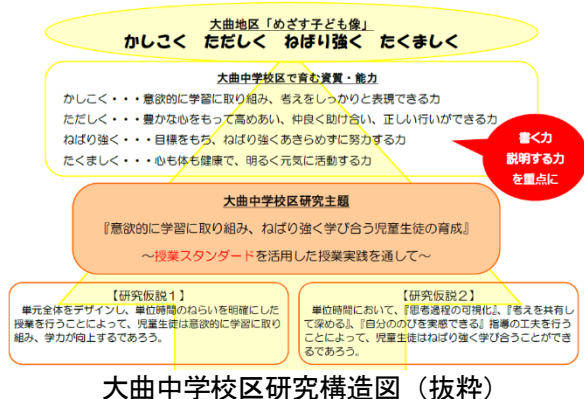
また、来年度の実践目標は、「中学校区ごとの教育計画のさらなる実践と個別最適な学びと協働的な学びの往還」としています。「個別最適な学び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」を往還することで、充実を図ります。引き続き、教職員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

大曲中学校区における小中一貫教育の取組

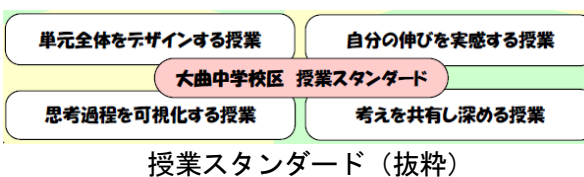
【今年度の取組から① 3校共通の研究主題】

小中一貫教育とは、小中学校の教職員がめざす子ども像や重点目標を共有し、9年間を通じた教育課程を編成して、それに基づき行う系統的な教育と押さえています。大曲中学校区の小中一貫教育における今年度の重点は「**大曲スタンダード・授業スタンダード**を徹底し、子ども一人一人に**資質・能力を積み上げて育てる**」ことです。小・中9年間の学び（特に授業）の中で学習意欲の向上を図り、資質・能力を育成するために、3校共通の指導を行い同じ視点で授業改善を進めることは、乗り入れ授業を充実させるとともに、学習面における円滑な接続につながると考えています。これまで中学校区における授業改善の視点として活用していた「授業スタンダード」を、今年度より3校共通の研究主題の中に位置づけ、目的や手法を共有して資質・能力の育成を目指しています。

令和4年度 大曲中学校区小中一貫教育 全体構造図



大曲中学校区研究構造図（抜粋）



授業スタンダード（抜粋）

【大曲小学校】

単元デザイン、学習の可視化、課題提示から学びを価値付ける振り返りの流れなどを意識して授業づくりを進めています。また、全教科の資質・能力の育成や学習の基盤となる「語彙力」も大切にしています。



【大曲東小学校】

単元をデザインし、授業ごとに重点を明確にして「課題→考える→交流→まとめ→振り返り」の流れで授業を行っています。中学校から乗り入れ授業にくる先生も同じスタイルの授業を行っています。



【大曲中学校】

全校研修会や教科部会の授業公開を中心に、単元デザインや授業展開、ICTの効果的な活用等について研修を深めています。中学校区交流研修会では、小学校の先生方にも授業を見てもらいました。



【今年度の取組から② 3年ぶりに実施した小6児童の中学校登校による入学説明会】

2月14日（火）に大曲中学校の入学説明会が行われました。3年ぶりに大曲小学校と大曲東小学校の6年生児童（他市町村からの入学予定者も含む）が大曲中学校に集まり、体育館での全体説明や、8コースに分かれての体験授業を受けました。児童たちにとっては、入学までの気持ちが高まるとともに、児童生徒交流が難しい大曲地区において貴重な交流の機会となりました。

